「反対（3名）」高浜町議会にも変化が
老朽原発動かすな!の声を、今こそ大きく

福井県の高浜町議会は11月25日、臨時町議会を開いた後、全員協議会を開催し運転開始から40年を超えた関西電力高浜原発1、2号機の再稼働を議会として認めるか否かを決めるための自由討議を行い賛否について採決しました。その結果、賛成10名、反対3名で再稼働を認めるが多数をしめました。その後、すぐに野瀬豊町長を同議会に呼び、上尾徳郎議長が、「町民の安全確保を前提に、原発との共存共栄により住民福祉の一層の向上図るため、『同意』すべきと判断する」とする報告書を手渡しました。

高浜町議会への抗議を行う（11月25日）

自由討議では、複数の議員（児玉、松井両氏）から「40年超えは全国初であり重い決断となるが、それには審議が不十分である」「先（10月30日）の町民討論会では一般町民が参加できないばかりか、安全性の議論のみで、再稼働についての議題はなかった。議会でも議論が始まったばかりである」「（福井）県は再稼働を議論する段階にないと言っており、町は前のめりで時期尚早である」など再稼働に慎重な意見がありました。

渡邊孝議員（日本共産党）は、「高浜1号機は、脆性遷移温度が95℃であり、同3、4号機でも蒸気発生器伝熱管の減肉・損傷も多数起きており、専門から危険性が指摘されている。避難計画も不十分であり、町民の命と安心を最優先に慎重に判断すべき」と述べました。

野瀬町長は、「議論は賛否両論あったと聞いている。それらを踏まえ、国や関電の対応を見ながら（町長として）判断していく」と述べるにとどめました。

また、高浜町役場前では、県内外から駆けつけた約20人の住民が、「議会はちゃんと審議しろ！老朽原発うごかすな！」の声を上げました。

（原発住民運動福井・嶺南センター
事務局長・山本雅彦）

神戸市長へ、関電の老朽原発
再稼働を諦めさせるよう申し入れる

11月26日、老朽原発うごかすな！実行委員会は、こわすな憲法！いのちとくらし！市民デモHYOGO、さよなら原発神戸アクション、脱原発はりまアクションの3団体のみなさんとともに、関西電力の大株主である神戸市が、関西電力と速やかに協議を行い、40年越えの老朽原発の稼働を諦め、すべての原発を廃炉にするよう申し入れることを求めました。

対応したのは、神戸市に今年新たに独立した課として作られたばかりの「エネルギー政策課」でした。その課の会議室を用意してくれ、きっちり1時間話し合うことができました。同課の若い南部課長と平田係長に比し、紹介議員になっていただいた高橋秀典市議はじめ10人は、全員が白髪の混じる高齢者。

「脱原発に向け時間をかけて、取り組んでいきたい」という神戸市に、地震に備えのない日本の原発の現状や、様々な事故の危険、前日の高浜町議会の決議に触れながら「約束違反の老朽原発の稼働」への住民の想い、コロナ禍の中での検査や事故の対策の危険などが、私たちから様々出され、お二人は神妙に聞いておられました。準備していただいた高橋市議、はりまの菅野さん、ありがとうございました。

（若狭の原発を考える会
松原康彦）

神戸市長に申し入れ（11月26日）